

第622回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

忘れない3. 11

俺っ家は陸前高田～ひげマス 故郷に帰る～

平成29年7月31日（月）

(株) I B C 岩手放送

第622回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成29年7月31日(月) 午前11時
2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|--------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 9名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 龍澤 尚孝 宮 順子 |
| | 小松 務 澤口 たまみ |
| | 村井 康典 畠山 俊彰 |
| | 栗田 均 |
| 欠席委員の氏名 | 岩田 圭司 |
| 会社側の出席 | |
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 武田 敏哉 | 取締役放送本部長 |
| 黒澤 秀之 | 取締役営業本部長 |
| 中島 勝志 | 報道局長 |
| 佐藤将幸 | 報道部記者・ディレクター |
| 事務局 | |
| 若槻 修 | 番組審議会事務局長 |
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局員 |
4. 議題 報道特別番組
「忘れない3.11 俺っ家は陸前高田
～ひげマス 故郷に帰る～」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- ひと言で言うと、熊谷さんことひげマスさんの男気を感じる番組で、あつと言う間に30分過ぎてしまった感じ。自宅、店舗が流された熊谷さんが、震災10日後に陸前高田を離れて盛岡に出店。「もう一度戻って復活するんだ」という強い信念と、これをしっかり支えてくれる奥さんの姿が非常に印象的に映し出されていた。
- 6年で陸前高田に戻ったというストーリーだが、陸前高田の復興のスピードに触れていたほか、盛岡の市場に入る海産物が6年目になると揃ってきたという海の復興の話もあって、熊谷さん自身の復興の話と陸前高田の街と三陸の海の復興を重ね合わせて読み取れた。一方で、熊谷さん自身、盛岡に行くときも陸前高田に戻るときも多分葛藤があったのではないかと思うが、その辺りもう少し人間臭さみたいなところも出せれば、より共感を持って見られたし、深みも出たと思う。
- サイドストーリーみたいなものがないというのは心の機微が拾えていないせいだと思う。お客さんや奥さんなどから何か伏線となるような、真っ直ぐな流れのほかに枝葉になるような話が拾えたらもっと面白くなったのではないかな。
- 故郷に「アバッセたかた」がオープンし、「みんなに遅れないように」と急いで「俺の家」を開店させたら「俺の店が1軒だけだった」という。それを見たときに、復興が進んでいないことをとても強く感じた。
- 岩手にもこんなパワーを持った人がいるということを知り、ぜひ若い人たちにも見て感じてほしいと思う反面、どんな条件が揃ってこういう展開になったのかということを知りたいところを、ぜひエキスだけでも入れていただければ良かったと思う。「遅れをとらないように、でも足並みを揃えることを」という妻の一言や「お腹もでかいけれど背中もでかい」という息子の言葉が印象的だった。
- 大震災に関わる1人1人のストーリーというのは、こういう機会でもないと直接知る機会がないので、ぜひこの「忘れない3.11」シリーズを含めてこれからも取材を続けていただきたい。